

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 ALLIANCE Registry (DCB Real World Registry)』

研究機関名 東邦大学医療センター 大橋 病院

研究責任者 循環器) 職位・氏名 准教授 飯島雷輔

### 【試料・情報の利用目的】

出血リスクが高い患者さんに対する薬剤塗布バルーン治療後短期間2剤抗血小板療法の安全性、有効性を検証するために用いられます。この研究で得られる成果は、冠動脈拡張術の予後改善のための知見蓄積につながります。

### 【他機関への提供】

電子的臨床検査情報収集(EDC)に提出された臨床経過情報を、あなたの個人情報が分からないように管理します。

### 【研究に用いられる試料・情報】

診療の治療歴、副作用等の発生状況、個人情報等

利用する情報は、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除して使用いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

### 【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2026年12月より利用を開始します。

### 【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

東邦大学医療センター大橋病院 病院長 渡邊 学

### 【試料・情報の取得方法】

対象者：2023年7月～2025年4月までに東邦大学医療センター大橋病院

循環器内科において、薬剤塗布バルーンの成績を評価した ALLIANCE registry に登録いた  
だいた方

方 法：診療録(カルテ)から抽出し EDC に入力されたデータを解析します。

### 【研究組織】

代表施設名：東邦大学医学部 循環器疾患低侵襲治療学講座(寄付講座)

研究代表者：中村 正人 役職：教授(寄付講座)

**【利用する者の範囲】**

代表施設名： 東邦大学医学部 循環器疾患低侵襲治療学講座(寄付講座)

研究代表者： 中村 正人 役職： 教授(寄付講座)

**【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】**

代表施設名： 東邦大学医学部 循環器疾患低侵襲治療学講座(寄付講座)

研究代表者： 中村 正人 役職： 教授(寄付講座)

本研究に関してご質問のある方、情報を研究に利用することを承諾されない方は、下記へご連絡下さい。申し出のあった方の情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

**【連絡先および担当者】**

東邦大学医療センター 大橋 病院 循環器内科

職位・氏名 准教授: 飯島雷輔

電話 03-3468-1251 内線 7123